

## 済生会滋賀県病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (倫理委員会受付番号)	頭部外傷の凝固障害の類型に応じた新規治療戦略の多施設共同研究
当院の研究責任者	脳神経外科 藤原 岳
他の研究機関および各施設の 研究責任者	京都府立医科大学 脳神経外科 橋本直哉 済生会滋賀県病院 脳神経外科 岡英輝 滋賀医科大学 救急集中治療科 塩見直人 京都第二赤十字病院 脳神経外科 村上陳訓 救急科 岡田遥平 京都第一赤十字病院 脳神経外科 木村聡志 京都田辺中央病院 脳神経外科 村上守 京都九条病院 脳神経外科 榊原毅彦
本研究の目的	先行研究で導き出された凝固フェノタイプの検証が主目的です。頭部外傷の発生、重症度、治療方針、転帰に関わる因子を多面的に分析し、凝固フェノタイプの外的妥当性を検証し予後との関連を検証すること、またそれに応じた新規治療を提案することを主目的とします。本研究で頭部外傷の凝固障害の類型がわかることで、複雑な凝固障害のメカニズムの解明と凝固補正治療の発展、予後の改善に寄与できる可能性があります。
調査データ該当期間	2012年1月1日～2021年12月31日
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象となる患者様 上記対象期間に頭部外傷で入院された方。</li> <li>●利用する情報 年齢、性別、身長、体重、来院方法、受診日時、発生日時、発生場所、生活様式、ADL、既往歴、内服歴、来院時 Vital sign、来院時身体所見、来院時血液検査所見、CT・MRI 所見、心電図所見、治療方法、治療薬剤、輸血量、診断名、合併症、転帰を利用します。</li> <li>●方法 日本頭部外傷データバンクを用いた先行研究のクラスター解析で導入されたフェノタイプについて、本研究のデータで検証を用いて同様の結果が導き出されるか検討します。フェノタイプの外的妥当性を示し、予後や損傷形態との関連を解析します。</li> </ul>

試料/情報の他の研究機関への提供及び提供方法	多施設共同研究であり、暗号化された電子的配信等を用いて共同研究施設へ上記データを提供することがあります。
個人情報の取り扱い	研究成果は学会発表や論文作成に利用しますが、患者さんが特定できる個人情報は完全に匿名化・削除します。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に際して開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話番号：077-552-1221 (病院代表) 所属・職名：脳神経外科 担当者氏名：藤原岳
備考	